

目 次

第1章 検討の目的と内容	1
第1節 目的	1
第2節 基本的事項	1
第2章 廃棄物をとりまく状況	2
第1節 廃棄物行政の岐路	2
1-1 過去から現在、未来への状況	2
1-2 廃棄物行政の課題	2
1-3 廃棄物行政の方向	3
第2節 循環型社会について	4
2-1 循環型社会とは	4
2-2 循環型社会の基本原則（3R等）	4
2-3 循環型社会に向けた主な取組・施策	5
第3節 最終処分場をとりまく状況について	8
3-1 処分場の現状及び必要性	8
3-2 減量化・資源化の目標	9
3-3 量・質の変化に伴う処分場の規模・考え方	9
第4節 最終処分場建設の留意点について	10
4-1 規模の考察	10
4-2 安全性、技術の進歩	11
4-3 経済性の検討	15
第3章 ごみ処理・処分の現状分析と課題	20
第1節 地域の概要	20
1-1 位置・沿革	20
1-2 自然条件	21
1-3 社会条件	24
第2節 ごみ処理・処分の現状	33
2-1 ごみ処理の流れ等	33
2-2 ごみ量の実績	34
2-3 分別・収集・運搬の現状	36
2-4 資源化の現状	39
第3節 施設について	41
3-1 ごみ処理の経緯	41
3-2 処理施設の概要	43
3-3 中間処理（焼却施設）	44
3-4 最終処分場	45
第4節 ごみ処理経費	50
第5節 持込費用の比較	51
第6節 産業廃棄物処理業者	53
第7節 上位計画	58
7-1 関係法令	58
7-2 地方自治法	62
7-3 目標	62

第 8 節	類似都市及び県内市町村との比較	66
8-1	類似都市との比較	66
8-2	県内市町との比較	68
第 9 節	課題・問題点の抽出	75
第 10 節	資源循環型社会に即した施策の検討	76
第 4 章	ごみ発生量予測.....	78
第 1 節	基本方針について	78
1-1	目標	78
1-2	方針	82
第 2 節	ごみ処理施策について	84
2-1	排出抑制・減量化・資源化に係る施策	84
2-2	処理・処分に係る施策	85
第 3 節	将来のごみ処理フロー	86
第 4 節	今後 15 年間のごみ発生量の予測	86
4-1	予測の前提条件及び手順	86
4-2	人口の推計	90
4-3	ごみ排出量の推計	91
4-4	処理・処分量の推計	103
4-5	最終処分量の推計	106
第 5 章	最終処分場での前処理の検討.....	107
第 1 節	最終処分場における前処理の方針	107
1-1	最終処分場に搬入する廃棄物の特徴	107
1-2	最終処分場における前処理	107
第 2 節	一般廃棄物に対する前処理	108
2-1	前処理技術の概要	108
2-2	前処理（選別処理）の概要	109
第 3 節	産業廃棄物に対する処理・処分方策	112
3-1	産業廃棄物の処理・処分先の現状	112
3-2	産業廃棄物処理・処分方策（検討案）	113
第 6 章	最終処分場の検討.....	114
第 1 節	最終処分場の立地条件等による一般的分類	114
1-1	分類	114
1-2	最終処分場の建設に係る法規制等	117
1-3	埋立対象物の種類による形式の分類	119
第 2 節	最終処分場形式の検討	121
2-1	形式の分類	121
第 3 節	最終処分場規模の検討	128
3-1	検討ケース	128
3-2	15 年間の埋立量	128
第 4 節	遮水工の検討	129
4-1	遮水構造	129
4-2	漏水検知システム	132
第 5 節	浸出水処理施設の検討	135

5-1	計画処理能力	135
5-2	計画流入水質の設定	136
5-3	計画放流水質の設定	136
5-4	処理方式	138
5-5	近年の高度処理法について	143
5-6	クローズドシステム処分場の水処理について	146
第6節	設置面積の検討	149
第7節	埋立作業計画の検討	156
7-1	埋立管理基本方針	156
7-2	埋立工法の検討	157
7-3	覆土計画	159
第8節	その他主要施設・設備	161
8-1	貯留構造物	161
8-2	浸出水集水設備	162
8-3	雨水集排水施設	162
8-4	防災調整池施設	162
8-5	埋立ガス処理設備	162
8-6	管理設備	163
8-7	搬入道路	163
8-8	モニタリング設備	164
8-9	管理棟	165
8-10	飛散防止施設	165
8-11	被覆設備	165
第9節	まとめ	166
第7章	概算工事参考価格の算出	169

資料編 関係法令の整理